

梅雨を越え、会津盆地の厳しい暑さの中、 生産者たちの稲と向き合う日々は続きます。

厳しい暑さが続いています。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。5月に田植えをしたAIZ'S-RICEは、長雨の影響もなくすくすくと成長し、大人の腰の高さまで伸びた稲は、いよいよ穂を形成する大切な時期を迎えました。生産者たちは、皆様のご期待にお応えできるよう、今日も真摯に米作りに取り組んでいます。秋の収穫まで、もうしばらくお待ちください。



5kg

300g

2kg

あいつの厳選米生産推進協議会

AIZ'S-RICEの特徴

- 会津産コシヒカリは「食味ランキング」で31年間で24回「特A」を獲得。
- その会津産コシヒカリ1等米の中から、食味値80点以上（玄米タンパク質含有率6.4%以下）のみを厳選。
- 特別栽培米ガイドラインに基づいて、栽培し、会津清酒の酒粕を肥料として使用。
- 世界的に禁止に向けて動いているグリホサート系除草剤及びネオニコチノイド系農薬を今年度から不使用。

今年の気候と生育環境

4月は大陸からの寒気の影響で全国的に気温が低くなった一方、3月と5月は南の暖かい空気が流れ込み気温が高くなりました。平均気温は平年より1℃高い10.7℃、日照時間は平年比104%の525.2時間、降水量は平年比119%で257mmでした。暖冬で積雪が少なく水不足が心配されましたが、6月、7月は梅雨前線が活発となり降水量は平年を大幅に上回りました。今後8月から10月は暖かい空気に覆われ、気温は平年並か高め、降水量はほぼ平年並みとなる予報です。

2020年3月～5月の 会津若松の気候

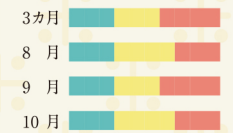
地点名	会津若松
平均気温(℃)	10.7
平年差(℃)	(+1.0)
降水(mm)	257.0
平年比(%)	(119)
日照時間(h)	525.2
平年比(%)	(104)

向こう3カ月の気温、降水量の 各階級の確率(%)

【気温】[東北地方]



【降水量】[東北地方日本海側]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※気象庁資料より

会津若松市の紹介

会津若松市

会津地区

中通り地区

浜通り地区

会津若松市は福島県西部の会津地方のほぼ中央に位置する人口約12万人の都市。戊辰の戦役で籠城戦が行われた鶴ヶ城や白虎隊士が眠る飯盛山、会津藩校の日新館等、歴史的名所が点在する観光地です。市内には東山温泉と芦ノ牧温泉の2大温泉郷があり、人々の心身を癒しています。中心部から少し離れると四方を山に囲まれた豊かな田園地帯が広がり、お米をはじめ、旬の食材を楽しむことができます。



東山温泉

新撰組副長の土方歳三も傷を癒したと言われる名湯。



芦ノ牧温泉

大川渓谷に佇む、開湯から1200年と言われる温泉地。



こづゆ

会津の伝統料理。内陸で入手しやすい海産物の乾物を活用。

鶴ヶ城

戊辰の戦役で新政府軍からの約1ヵ月に及ぶ猛攻に耐えた名城。

赤ペコ

会津を代表する民芸品。厄除けのお守りとしても人気。





会津の伝統農法と、ドローン等のICTを駆使して、 安心でおいしいお米づくりを目指す生産者たちの挑戦。

8月1日(土)、梅雨明け直前の会津盆地には、穂ばらみ期を迎えた青々とした田園が広がっていました。AiZ'S-RiCEの生育状況や今後の取り組み等について取材しました。



1 青々とした田園。穂ばらみ期を迎えた稲たち。

去年は登熟期に高温の日が続いたことで、収穫量は増えましたが、食味値の基準を満たしたお米は限られました。そこで、今年は5月中旬に遅植を行ったことで、8月初旬に茎の中で穂が作られ成長する穂ばらみ期を迎えました。穂ばらみ期は、稲の茎葉からの蒸散が多いと言われ、圃場を乾燥させないことが大切。今年の梅雨は平年を大幅に上回る雨量だったことが幸いし、水不足の心配なく、阿賀川の豊かな水が会津盆地を潤しています。

2 環境と共存しながら、ICTで害虫へ対応。

AiZ'S-RiCEでは、会津藩の伝統農法が記された「会津農書」に即して会津清酒の酒粕を肥料として加え、グリホサート系除草剤及びネオニコチノイド系農薬を今年度から不使用としています。一方、環境にやさしい栽培法であるため、カメムシ等の害虫との戦いは避けられません。そこで、活躍しているのがドローン。液剤をムラなく均一に短時間で散布することができ、稲や環境への影響を抑えながら稲を害虫から守っています。



液剤積んで散布が可能な大型ドローン。



葉の色の濃淡で栄養状態等を把握。

3 小型ドローンで上空から生育状況をチェック。

ドローンのメリットはそれだけではありません。稲は栄養状態等で葉の色が変わり、生産者はその違いに応じて水や養分を調整することで、病気を防いだり、成長を促したりしています。ドローンで上空から見れば、その違いが路上からより一目瞭然となり、必要なところだけにミネラル成分の葉面散布等を行うことが可能です。「お米は毎年1回しか収穫できません。米づくりのためなら、どんなことでも挑戦したい」と荒井さんは語ります。

AiZ'S-RiCEをつくる人

人口が増えていた高度成長期は、味に関係なくお米がどんどん売れる時代でした。でも、今はそうはいきません。食味値100のお米を一度でいいから育ててみたい。そのために一年一年を大切にしていきます。



会津若松市 荒井 重隆さん



伝統農法も、ドローンも、すべてはもっと安心でおいしいお米づくりのために。
収穫まであと約2カ月。稲の成長と生産者の挑戦をこれからも追いかけていきます。

お問い合わせ

あいづの厳選米生産推進協議会(事務局:会津若松市農政部農政課内)
〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46
TEL:0242-39-1253 FAX:0242-23-8180

アイズライス



<https://aizs-rice.com/>